

平成 29 年 10 月 1 日

参加者 嶋原 曾和 宮本 (L 記)

久しぶりに秋晴れの良い天気恵まれ天王寺アポビル前 7 時 40 分出発です。針インターから榛原当たりに入ると外気の温度計 13° になっていましたがあまり寒さは感じられません。お亀の湯を通り過ぎ昨年と同じ山中の路肩に駐車する。倶留尊山に向かいます。長尾峠から分岐亀山峠登山道の尾根道の眼下には、ススキの大草原が広がり草原の中央にお亀池の湿原が見えています。絨毯を敷き詰めたような草肌の尾根が連なりいつまでも眺めていたくなる素晴らしい景色です。ススキを求めて大勢のハイカー、観光客が高原のあちこちに人人で賑わっています。亀山峠展望所に 930 M に到着です。展望から御古光山、兜岳、大岩峰鎧岳と眺めの良い山々が広がっています。小休止して、倶留尊山を目指す樹林帯の中をしばらく登って二本ボソの徴収小屋が見えてきました。かなりのお年寄りの方が窓口に座っています。(私有地のため一人 500 円) の入山料を払い、小屋の裏手に簡易モノレールで登ってくるのだとガッテンする。二本ボソピークに立つ。996m 倶留尊山が綺麗に見えています。眺めがよい場所です。二本ボソには 2~3 人の、先客がおられ奥さん 1 人残して倶留尊山に行かれたそうで戻ってこられた男性の方に伺っておられ安心したご様子でした。私達も倶留尊山迄の登山道の状況を伺う、結構下って登り返すとのこと、証拠写真に納まり小休止後、出発です。急な坂道を結構下り、登りも急な坂道で岩場でありロープも張られています。登り切ると倶留尊山山頂 (1038m) 到着です。楽しみの昼食とする。暫くするとあまり広くない山頂に続々とハイカーに家族連れが登ってこられます嶋原さん、人数を数えておられました、早々に下山、帰りは、亀山峠経由で曾爾高原広場に到着です。優しくススキの穂が風にゆられ光っています。ベンチやテーブルもあり行楽客に交じり休憩、曾和さんから冷たいフルーツを頂く乾いた喉を潤し元氣をもらいました。駐車場に戻り、今年は、ムカゴの収穫が少なく不作のようです。高原下のお亀の湯にてツルツルのお湯で汗を流しサッパリして阿倍野で解散しました。嶋原さん車有難う御座いました。曾和さんお疲れさませした。



曾爾高原～古光山



倶留尊山山頂



お亀の池を